

# 七尾にフリースクールを

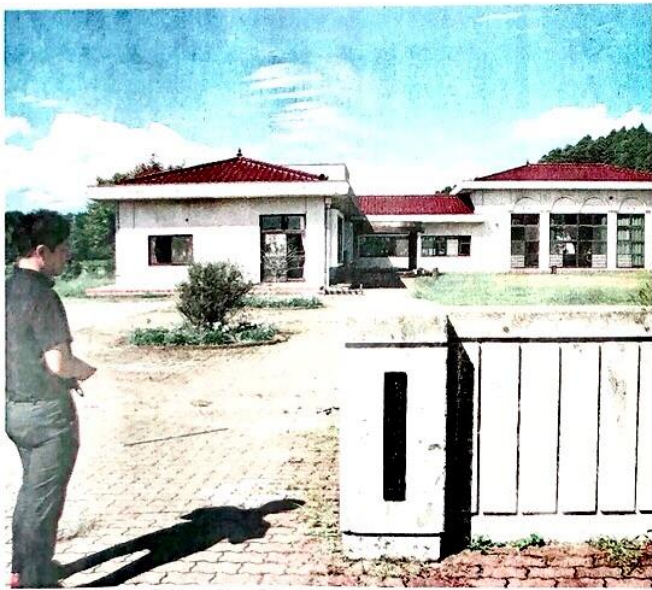
## 不登校の子を応援

### 「親の会」来春開校へ準備

子の不登校に悩む親の会「Fleurir(フルリール)」を運営する七尾市矢田町の会社員山本秀美さん(40)もが、同市高階地区にフリースクールをつくらうと準備を進めている。来年四月の開校を目指し「苦しむ子どもに、学校以外にも学びの場があると伝えたい」と意気込んでいる。(中川絃希)



フリースクールについて話し合う山本秀美さんと佐々木健治さん＝七尾市満仁町で



活用を検討している旧高階保育園＝七尾市池崎町で

山本さんは、金沢市で二校のフリースクールを運営するLYHTY(リユフト)代表理事の佐々木健治さん(40)と協力。不登校の児童生徒に、音楽、スポーツ、料理など興味があることを追求させ、他者との交流や目標発見につなげてもらう。山本さんの長男も中学から六年間不登校になり、現在は大学進学のため勉強している。だが学習の原動力となる夢は見いだせず、励まし合つ友人もない。山本さんは「フリースクールがあれば、同じ境遇の仲間と会い、苦しみが軽減できたかも」と話す。

高階地区コミュニティセンターか旧保育園の使用を考へ市と協議しており、不登校の子の情報提供も受けられるよう要請している。地元の町会連合会の宮崎吉春会長(68)は「最近是不登校の子が多いと聞く。実現すれば、行き場のない子どもたちを地域で応援したい」と歓迎する。

佐々木さんによると、能登地区にフリースクールはない。山本さんは「フリースクールに通うことが選択肢の一つとして自然に受け入れられるような環境をつくりたい」と話した。

